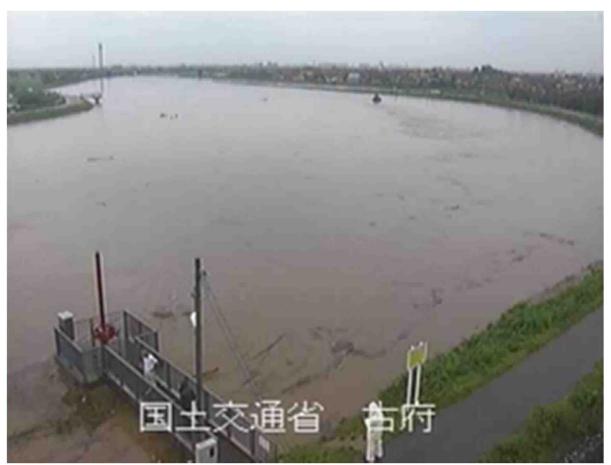
平成25年7月梅雨前線豪雨による 手取川・梯川出水状況 (速報版)

~ 梯川「埴田水位観測所」で観測至上最大水位を観測 ~



【7月29日18時時点】

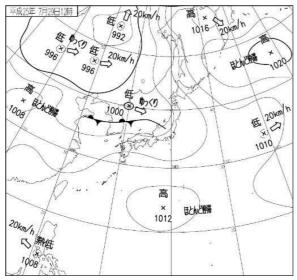
平成25年7月30日 国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

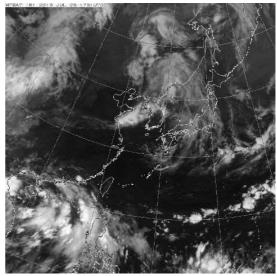
□ 気象概要

平成25年7月29日、日本海から東日本にかけて梅雨前線がのび、前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んだため大気が不安定となり、同日未明より北陸地方を中心に強い雨が降り続けた。これにより石川県小松市内では24時間雨量で199.5mm(小松地点)を観測し、この地点では観測史上最多の雨量を観測した。

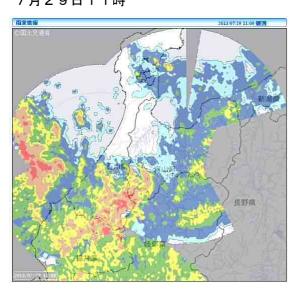
■天気図・衛星画像

7月29日12時

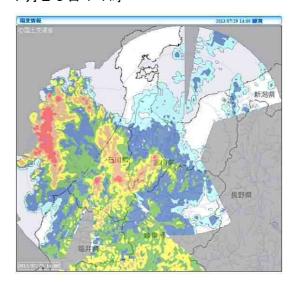




■レーダー雨量 (X-RAIN) による観測 7月29日11時



7月29日14時



口 出水概要

■梯 川

前線の影響による大雨で、雨量の最も多いところで、時間雨量で41mm、降り始めから3 0日午前10時までの雨量は233mmを観測した。

これにより、埴田水位観測所では、10:50に水防団待機水位(2.00m)、11:20にはん濫注意水位(2.50m)、11:30に避難判断水位(3.00m)、12:00にはん濫危険水位を超え、さらに上昇し17:20に計画高水位(5.24m)に迫る観測史上最大水位となる5.23mを観測した。

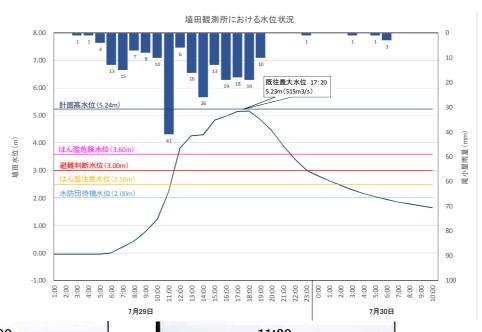
その後、水位は下降に転じ、21:40にはん濫危険水位、30日5:30に水防団待機水位(2.00m)を下回った。

【過去の水位記録】

【埴田水位観測所の推移】

順位	年月日	水 位 (m)
1	H25.7.29	5.23
2	H10.9.22	5.07
3	H18.7.17	4.91
4	H16.10.20	4.67
5	H18.7.19	4.39
6	H10.9.17	4.33
7	S59.6.26	4.08
8	H8.6.25	3.72
9	S56.7.3	3.63
10	S58.9.28	3.56

※ S47~H25年に生起した順位である。



梯川 古府地先 CCTV より



■手取川

前線の影響による大雨で、雨量の最も多いところで、時間雨量は最大36mm、降り始めから30日午前8時までの雨量は最大344mmを観測した。

この雨により、鶴来水位観測所では、13:50に水防団待機水位(0.90m)、15:30にはん濫注意水位(1.40m)、19:10にピーク水位2.05mを観測した。 その後、水位は緩やかに下降し、30日6:30に水防団待機水位(0.9)を下回った。

【鶴来水位観測所の推移】

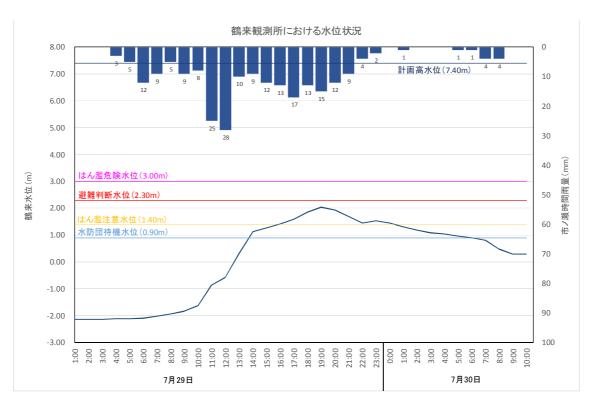




写真 辰口橋(7月29日18時頃)

□ 金沢河川国道事務所の対応に関する時系列

表 時系列表金沢河川国道事務所の対応に関する時系列

日 付	時 刻	出水体制情報・発信情報
7月29日	9:15	支部体制発令 (注意体制)
7月29日	11:00	梯川水防警報第1号 (待機)
7月29日	11:10	梯川水防警報第2号(出動)
7月29日	11:17	支部体制移行 (警戒体制)
7月29日	11:20	梯川洪水注意報第1号 (はん濫警戒情報)
7月29日	11:30	梯川水防警報第3号(警戒)
7月29日	12:00	支部体制移行 (非常体制)
7月29日	12:10	梯川水防警報第4号(警戒)
7月29日	12:20	梯川洪水注意報第2号(はん濫危険情報)
7月29日	13:10	梯川水防警報第5号(警戒)
7月29日	13:20	梯川洪水注意報第3号(はん濫危険情報)
7月29日	14:00	手取川水防警報第1号(待機)
7月29日	15:40	手取川水防警報第2号(出動)
7月29日	15:50	手取川洪水注意報第1号(はん濫注意情報)
7月29日	18:40	梯川水防警報第6号(状況)
7月29日	18:45	梯川洪水注意報第4号(はん濫危険情報)
7月29日	20:30	手取川水防警報第3号(状況)
7月29日	20:45	手取川洪水注意報第2号(はん濫注意情報)
7月29日	21:40	支部体制移行 (非常体制→警戒体制)
7月29日	21:55	梯川洪水注意報第5号(はん濫警戒情報)
7月29日	22:00	梯川水防警報第7号(状況)
7月29日	23:20	梯川水防警報第8号(状況)
7月29日	23:30	梯川洪水注意報第6号(警報解除)
7月30日	1:00	手取川水防警報第4号(状況)
7月30日	1:10	手取川洪水注意報第2号(注意報解除)
7月30日	2:00	梯川洪水注意報第7号 (注意報解除)
7月30日	2:00	梯川水防警報第9号(状況)
7月30日	8:10	手取川水防警報第5号(解除)
7月30日	10:00	支部体制移行 (警戒体制→注意体制)
7月30日	10:20	梯川水防警報第10号(解除)

■リエゾン派遣

小松市が11:50に災害対策本部を設置し、また能美市が13:40に災害対策本部を設置したことから、各市における対応状況の支援や情報提供並びに共有を図るため、金沢河川国道事務所から、それぞれ1名ずつ(計2名)職員をリエゾン派遣し、連携しつつ今回の出水対応を実施した。

口 被害状況と災害支援対応

■河川巡視による被害状況の把握

金沢河川国道事務所は、警戒体制に入り速やかに、現地状況把握などのため、河川巡視を 開始した。なお現時点では、堤防などに大きな被災は確認されていないものの、一部の小規 模な斜面変状等については、速やかな復旧対応に着手している。

【30 日 17 時時点】

表 被害状況

番号	左右岸	距離標	地先	項目	対応
1	右岸	5.2	小松市平面町地先(宗座樋管上流)	法面崩れ	ブルーシートで応急復旧完了
2	右岸	5.4	小松市川辺町地先	法面崩れ	ブルーシートで応急復旧完了
3	右岸	5.7	小松市川辺町地先(川辺町樋管上流)	法面崩れ	ブルーシートで応急復旧完了
4	右岸	8.6~8.8	小松市古府町地先	河岸侵食	復旧工法等検討中

図 被害位置

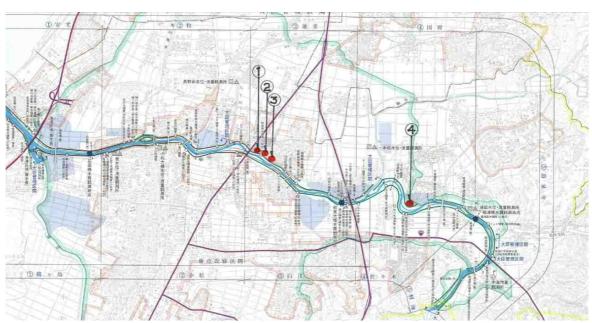




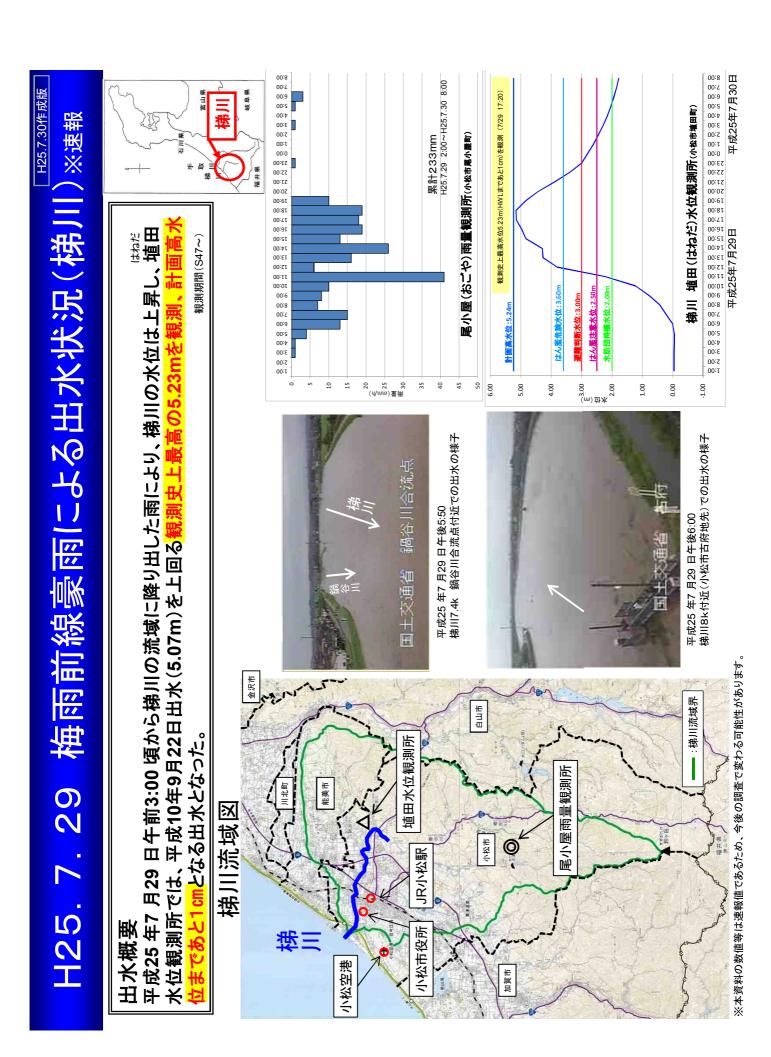
写真 応急復旧とその後の調査状況

■内水被害及び内水排除のためのポンプ車支援

小松市からの要請を受け、金沢河川国道事務所から、排水ポンプ車及び照明車を4箇所に 派遣し、内水排除を実施した。

出動場所	機械種別•台数	排水時間	開始時間 終了時間	概算排出量	作業人員 (のべ人数)
小松市 九竜橋川排水機場	排水ポンプ車 2台 照明車 2台	15時間45分	7/29 14:45 7/30 6:30	56,700m³	12人
小松市 上小松第二排水機場	排水ポンプ車 1台 照明車 1台	10時間10分	7/29 18:50 7/30 5:00	18,300m³	5人
小松市 川田川樋管	排水ポンプ車 1台 照明車 1台	10時間45分	7/29 19:35 7/30 6:20	19,350m³	7人
小松市 梯川右岸第二排水機場	排水ポンプ車 1台 照明車 2台	10時間40分	7/29 23:50 7/30 10:30	19,200m³	5人
合計	25mプ	ール 378杯分	}	113,550 m³	29人





H25.7.29梅雨前線豪雨出水に対し河川整備が効果発揮(梯川

H25.7.30作成版

速報値

第二十二年 **本**

●梯川は、昭和43年洪水を契機に昭和46年度より国による河川改修に着手。

全川において引堤 (川幅を約80mから120mに拡幅)による堤防整備を実施中。

平成25年7月29日の梅雨前線豪雨では、埴田観測所において計画高水位まであと1cmに迫る観測史上最高水位 を記録したが、これまでの引堤による堤防整備実施により

<mark>ト然に防ぐ</mark> ことができた。

♪なお、この整備により、戦後最大規模の洪水では、最大約1万戸の家屋浸水と約2,500億円の被害軽減が図られ ることとなる。



5.66

田福

四階

今回洪水で引堤しなかった 場合の水位(計算値)

約80m

5.69 D Įμ

5.38

引堤しなかった場合、越水、

破堤していた恐れあり

引堤整備後



	約120m	0m	(5.4k付近)
6.29 今回	今回洪水で引堤しなかった 場合の水位(計算値)	約70cmの水位低下 により越水を防いだ	6.29
聯	三 ※旧場 H.W.L 5.09 数去済み	5.00	
引堤整備後 (現在)			

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

昭和46年当時

(直轄着手前)